

陸上競技部顧問 様
陸上競技部 様

趣 意 書

(津スプリントトライアスロン大会開催について)

平素は陸上競技の普及・発展にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、津陸上競技協会と三重大学陸上競技部では、総合的なスプリント能力の向上をめざし、津スプリントトライアスロン大会を2002年に初めて実施し、本年は第15回目を計画いたしました。

スプリントトライアスロンとは、スプリンターが一日にスプリント3種目(100m、200m、400m)にトライし、各種目の記録を国際陸連のスコアリング・テーブル(通称ハンガリアン・テーブル)で得点換算し、その合計点で順位を競う競技です。100m、200m、400mの順で行われ、各種目の間隔は概ね2時間。最後の400mは混成競技の1500mや800mと同様に100m+200mの合計得点の上位順に番組編成されます。

風は2mを超えるとその種目としては参考記録となりますが、混成競技と同様4mまでは総合得点の記録として認められます。各種目の記録は、公認記録として申請されますが、総合得点はこの種目の発起団体であるアスレコムが認定するに留まっています。

日本では、1994年3月に初めてこの競技が実施され、現在、アスレコムが主催する東京での「オープニング・フェスタ競技会」と「エブリバディ・デカスロン大会」、さらには愛知県や兵庫県の高校記録会でもこの方式で競技会が行われています。

そこで、この大会が三重県で行われることは、かなり画期的であり、三重県のスプリンターの走力の向上に役立つものと考えています。

ぜひ、この大会の趣旨に賛同いただき、多数の方々がご参加くださいますようご案内申し上げます。

【参考】

☆現在の「日本最高」は次の通りです。

		100m	200m	400m
男子	福長 正彦(東学大ARC) 3074点 2002年7月6日	10秒64	21秒27	47秒70
女子	杉森 美保(東学大) 3131点 2000年7月22日	12秒01 (W)	24秒39	54秒01

2016年9月25日

津陸上競技協会 理事長 小方 順治
三重大学陸上競技部監督 杉田 正明